

中国の先端技術戦略に関する講演会を開催

開催日： 2019年3月11日(月)

場 所： 経団連会館

テーマ：「中国の先端技術戦略：その動向と諸外国への影響」

講 師： スコット・ケネディ 戦略国際問題研究所(CSIS) 上級アドバイザー・中国研究部長

経済広報センターは11日、東京・大手町の経団連会館で、米シンクタンク戦略国際問題研究所(CSIS)で中国問題の上級アドバイザーを務めるスコット・ケネディ氏を招き、「中国の先端技術戦略～その動向と諸外国への影響」をテーマに講演会を開催。経済広報センター会員企業関係者など約100名が出席した。

冒頭、ケネディ氏は、30年以上にわたる中国研究の経験に基づき、中国の産業・技術政策を展望し、近年、中国企業による研究開発投資が急速に拡大している状況を説明した。

具体的には、中国が特に注力している分野として、eコマースをはじめとしたデジタルエコノミー、商業旅客機開発、電気自動車の3分野を挙げた。

デジタルエコノミーは、アリババ、テンセントといった大企業のみならず無数の中小企業の成功によって支えられており、世界をリードしている面もあると指摘。他方、政府支援に依存するところが大きい商業旅客機開発は、インテグレーションの不得意な国有企業によって主導されており、結果的に大成功とはいえない状況であると分析した。電気自動車については、中国が世界最大の電気自動車生産国となっているが、補助金制度のもとで生産能力が過剰となることにより中国の経済を傷つけており、諸外国に悪影響をもたらす可能性があるとして説明した。

そのうえで、中国の技術開発が日米をはじめとする諸外国に与える影響については、市場原理に基づく評価を行い、個々に判断していく必要があることを強調した。

以 上

